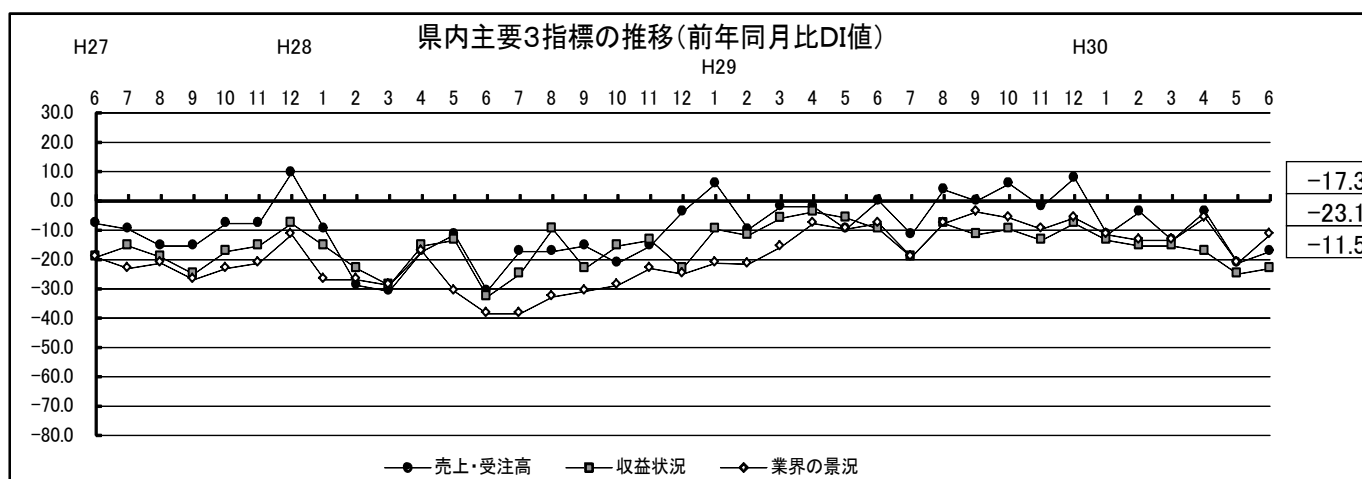


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成30年6月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 6月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「雇用人員」のみが下降し、「売上高」「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「業界の景況」の7指標が上昇した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より3.9ポイント上昇し-17.3ポイント、「収益状況」が前月より1.9ポイント上昇し-23.1ポイント、「業界の景況」が前月より9.7ポイント上昇し-11.5ポイントであった。
- 数値のみに目を向けると、栃木県内では上昇・回復傾向にあるように見てとれる結果となった。しかし、多くの企業で人手不足に直面しているとの声を聞くなど、労働力不足の深刻化による機会損失等の悪影響が懸念される。中小企業にとっては、労働力の確保が目下のところ最重要課題の一つである。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-17.3	+3.9	-14.3	-2.8
収益状況	-23.1	+1.9	-21.8	-1.9
業界の景況	-11.5	+9.7	-20.2	-2.6

売上・受注高

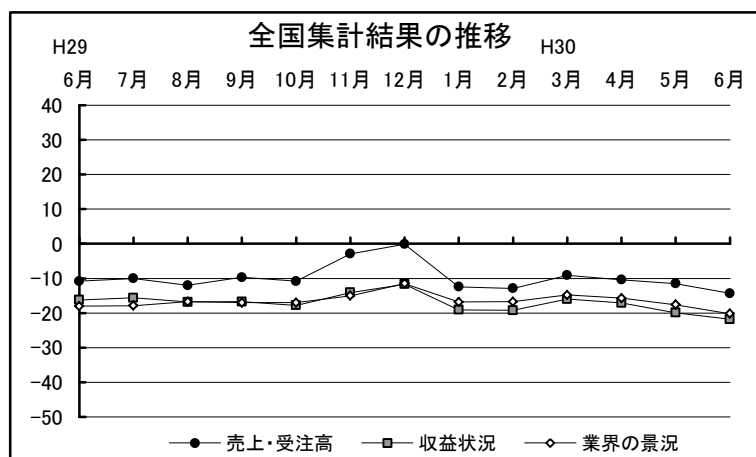
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より3.9ポイント上昇し-17.3ポイントとなった。全国においては、前月より2.8ポイント下降し-14.3ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より1.9ポイント上昇し-23.1ポイントとなった。全国においては、前月より1.9ポイント下降し-21.8ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より9.7ポイント上昇し-11.5ポイントとなった。全国においては、前月より2.6ポイント下降し-20.2ポイントとなった。



-概 況-

6月の前年同月比D I値は、前月の前年同月比D I値と比べて、9指標中「雇用人員」のみが下降し、「売上高」「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「資金繰り」「業界の景況」の7指標が上昇した。

主要3指標は、「売上高」が前月より3.9ポイント上昇し-17.3ポイント、「収益状況」が前月より1.9ポイント上昇し-23.1ポイント、「業界の景況」が前月より9.7ポイント上昇し-11.5ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中2業種が上昇、4業種が低下し、非製造業で6業種中3業種が上昇、1業種が低下した。「収益状況」は製造業で1業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で3業種が上昇、1業種が低下した。「業界の景況」は製造業で7業種中3業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で4業種が上昇した。

数値のみに目を向けると、栃木県内では上昇・回復傾向にあるように見てとれる結果となった。しかし、多くの企業で人手不足に直面しているとの声を聞くなど、労働力不足の深刻化による機会損失等の悪影響が懸念される。中小企業にとっては、労働力の確保が目下のところ最重要課題の一つである。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	△	△	△	△	△	△	△	×
繊維・同製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	×	×	△	△	×	△	△	×	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	○	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	○	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	○	△	×	△	—	△	△
サービス業	△	—	△	△	×	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	△	—	△	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-75.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0
繊維・同製品	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	25.0
木材・木製品	-100.0	-50.0	25.0	0.0	-75.0	-25.0	0.0	-50.0	-75.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	0.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	75.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	-25.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0
製造業	-24.0	-12.0	8.0	0.0	-24.0	-16.0	-12.0	-8.0	-16.0
卸売業	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0		0.0	33.3
小売業	-42.9	-14.3	42.9	-28.6	-57.1	-28.6		14.3	-28.6
サービス業	-33.3		0.0	0.0	-50.0	16.7		0.0	0.0
建設業	0.0		20.0	0.0	0.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-11.1	-10.0	14.8	-7.4	-22.2	-3.7		3.7	-7.4
全体	-17.3	-11.4	11.5	-3.8	-23.1	-9.6	-12.0	-1.9	-11.5

図表3～【指標別DI値の推移】

	29年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	前月比
売上高	0.0	-11.5	3.8	0.0	5.8	-1.9	7.7	-11.5	-3.8	-13.5	-3.8	-21.2	-17.3	3.9
在庫数量	-14.3	2.9	-2.9	-17.1	0.0	-17.1	-2.9	-28.6	-20.0	-14.3	-14.3	-14.3	-11.4	2.9
販売価格	3.8	3.8	1.9	1.9	1.9	-1.9	3.8	1.9	7.7	5.8	3.8	9.6	11.5	1.9
取引条件	0.0	-1.9	-1.9	-1.9	-5.8	-5.8	-3.8	-3.8	-1.9	-3.8	-3.8	-5.8	-3.8	2.0
収益状況	-9.6	-19.2	-7.7	-11.5	-9.6	-13.5	-7.7	-13.5	-15.4	-15.4	-17.3	-25.0	-23.1	1.9
資金繰り	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	-7.7	-7.7	-7.7	-11.5	-9.6	-9.6	-9.6	-15.4	-9.6	5.8
設備操業度	-4.0	-16.0	-12.0	-12.0	8.0	20.0	8.0	-16.0	8.0	-4.0	-8.0	-12.0	-12.0	0.0
雇用人員	-1.9	3.8	5.8	5.8	0.0	1.9	0.0	3.8	0.0	-5.8	1.9	0.0	-1.9	-1.9
業界の景況	-7.7	-19.2	-7.7	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-11.5	-13.5	-13.5	-5.8	-21.2	-11.5	9.7

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	25.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0
木材・木製品	-50.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0	25.0	0.0	-50.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	100.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
一般機器	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
製造業	0.0	4.0	0.0	4.0	-4.0	4.0	0.0	-8.0	4.0
卸売業	33.4	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0		0.0	33.3
小売業	-14.3	0.0	0.0	-14.3	-14.2	0.0		0.0	14.3
サービス業	0.0		0.0	16.7	0.0	33.4		16.7	16.7
建設業	20.0		20.0	0.0	20.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	25.0	0.0		0.0	25.0
その他	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	7.4		0.0	3.7	0.0	7.4	7.4	3.7	14.8
全体	3.9	2.9	1.9	2.0	1.9	5.8	0.0	-1.9	9.7

特記事項

情報連絡員報告（平成30年6月分）

所属組合	特記事項
縫製業	5月は伸び悩みましたが6月は暑い日が続く、夏物商品の売れ行きは好転した。ただ、6月28日頃から各店セールになり、梅雨も早く明けたのでこの後に期待できる。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	7～9月にかけて来春夏の企画がスタートする。どのような素材が求められるのか注視している。各社ともサンプル等、新提案に注力している。
一般製材業	前年に比べ加工坪数は多少増加したが、売上高は前年が上であった。5月に比べ6月は上向きな傾向になってきており7月以降に期待している。
集成材製造業	世界の経済が好調なため、原材料を輸入している企業は厳しい。原材料の価格に販売価格が追いついていないように感じる。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に代わりはない。
石灰製造業	鉄鋼向けは若干増加、肥料向けは前年並み、土質向けは若干減少となり、石灰関係ではトータルで前年並みとなった。
金属製品製造業	家電製品（エアコン）の売り上げが増加している。
金属製品製造業	・自動車部品関連…微増傾向 ・工作機械関連…減産傾向
一般機械器具製造業	6月は前年同月と比較し、全般的にはほぼ不変という結果になっている。一部では、仕入単価の上昇傾向等の懸念材料はあるものの、売上増の期待の感触はある。そのような状況下、相変わらず人手不足、増産対応が厳しいという報告もある。
一般機械器具製造業	4月以降、悪い状況が変わらなく、打つ手なし。報道では良いようなことを伝えられているが、どこが良いのか不思議である。
各種商品卸売業	・昨年同期と比べ、好転しているとする企業が増加となった。 ○機械器具卸売業 取引先である製造業界は安定した状況が続いており、自社の起業努力と相まって前年同期比売上高等増加となっている。 ○建築材料等卸売業 栃木国体の準備に向けたスポーツゾーンの建設やLRT工事関連により県内の建設関連は活発な動きとなっている。こうした状況もあり当社においても順調に売上の伸びを示し、前年同期比売上高等増加となっている。しかし、技術者や職人等の人材不足が不安材料である。
食肉小売業	牛肉・豚肉の高値安定と、鶏肉はブラジルの運送業のストのため高騰し、利益を圧縮している。7月8月も相場が下がる見通しが無い。
各種商品小売業	大型店舗も売上が伸びず苦戦の6月であった。通行量は回復傾向にあるが消費に繋がることのない月であった。
各種商品小売業	売上は前年を下回ってしまったが、客数は前年をクリアすることができた。集客力の落ちる6月に客数がアップしたことは非常にポジティブな材料であり、足利市や市内諸団体と共同で開催したイベントの集客によることが大きいと思う。今後も各イベントを積極的に開催してもらえよう、良好な関係を築きあげていきたい。
花・植木小売業	市場の状況を見ると、入荷量は前年と比べ10%程度の減となったが、単価の方も騰がらずといった市況推移で、5月からの入荷減での単価安傾向が続いた。本格的な産地の切り替え時期に入り、色物の菊、小菊、カーネーション等は品薄感も出てきており、今後は少しずつ単価も上昇傾向になりそうな気配なので、しっかりとした仕入計画を立て、花持ち悪く売れない時期の対策を考えていきたい。
自動車整備業	売上高低迷が続いている。改善策として、通信網を利用したユーザー管理の方法を検討中。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関しては、ここ数年のトレンドのまま全体的に上昇していたが、2018年になってからの5カ月間に少し停滞感がある。DC後の秋までの動きに注視していきたい。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。宴会に関しては、5月から6月の総会開催時期を堅調に推移し、例年通りの数字を作れたと感じている。
ビルメンテナンス業	ビルメン、廃棄物処理などで収益性が低下する一方、人員確保のために労働条件の改善を進めているため増収減益となっている。

給食センター	売上高は昨年あったスポットの売上がないため、減少となった。現状、米や野菜等の食材の値上げによりコストアップとなり、厳しい状況ではあるが、新規の得意先の開拓・新商品の開発・コストダウンにより、収益を改善する。
内装工事業	栃木県室内装飾事業(協)の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは61%減、敷物用ラベルは39%減、壁装用ラベルは10%減であった。 ラベルの支給(売上)金額では前年同期比64%減であった。 前年度4月～6月累計では38%減であった。
一般貨物自動車運送業	運賃料金の水準は、若干ながら回復基調で推移したものの、労働力不足や燃料価格上昇によるコスト増加の影響を大きく受けて厳しい業況にある。
貨物軽自動車運送業	荷動きは、6月度後半より持ち直しの気配が感じられるようになってきたものの、前年同期比に比べ受注量は減少傾向にあり、景況感は悪化している。なお、人手不足は益々深刻化している。
一般乗用旅客自動車運送業	DCの影響もあり、日・祭日の人通りは多く、特に餃子店前での行列が絶えない。タクシー利用客も若干増えている。
大谷石採石業	前年同月比で微増で推移した。大阪での地震による被害でブロック業会も含め、今後どの様に影響(法規制を含め)してくるか注視したい。